

第 2 回京丹後市文化財保護審議会

- 1 開催日時 平成 19 年 10 月 31 日（水）午後 1 時 30 分～午後 4 時 00 分
- 2 開催場所 京丹後市大宮庁舎 4 階 第 2 会議室
- 3 出席者 田中光浩委員、今村純訓委員、平井久夫会長、
系井秀太郎委員、吉岡英一委員、城下圭介委員、藤田泰弘委員、
富澤孝雄委員、足達礼三郎委員
欠席者 増田馨委員
事務局 引野教育長、水野教育次長、祝前哲夫館長、吉田課長、横島補
佐、岡林主事、能勢主事、橋本技師、小山主事
- 4 内 容
 - (1) あいさつ
 - (2) 議事
 - 平成 19 年度文化財関係事業経過報告について 資料 1-1、1-2、1-3、4
シホ次第、
 - 平成 19 年度両丹文化財保護連絡協議会について 資料 2
 - 京丹後市指定文化財について（非公開） 資料 3、3-1
 - その他
 - ・京都府埋蔵文化財調査研究センター調査経過報告
 - ・京都銀行口大野支店閉鎖後の建物利用について
 - ・平成 20 年度文化財関係予算要望について
- 5 公開または非公開の別
 - ・公開
 - ・京丹後市指定文化財については非公開（条例第 5 条の規定により）
- 6 傍聴人の数 0 人
- 7 要 旨

あいさつ（引野教育長）

こんにちは、皆さんお忙しい中ご出席をいただき有難うございます。第 2 回の文化財保護審議会になりますが、早いもので 19 年度も半分以上過ぎました。年度のまとめを行い、来年度予算について考える時期になりました。発掘調査も湧田山古墳の調査も終了し、来月より網野銚子山古墳の調査にかかります。また稲葉家文書も最終年度を迎え、現在目録の印刷製本の準備をしている段階です。本日は、19 年度の文化財保護事業の経過、平成 19 年度両丹文化財

保護連絡協議会、京丹後市指定文化財についての協議に加え、来年度の予算編成に向けてのご意見もいただきたいと思っております。本日は会議が重なっており、時間になりましたら退席させていただくことをご了解ください。

あいさつ（平井会長）

第2回めの会議の案内をさせていただきました。お忙しい中ご苦労様です。本年は、琴引浜の天然記念物及び名勝指定、赤坂今井墳丘墓の史跡指定、若狭国定公園から丹後天橋立大江山国定公園への名称変更など、文化財関連で大きな出来事が続きました。これからも文化財関係者として関心を持ち続けていきたいと思っております。本日は、16:00頃を終了予定としております。途中に一度休憩を入れたいと思っております。本日も審議をよろしく申し上げます。

議事

平成19年度文化財関係事業経過報告について

資料1-1 説明

（事務局）平成19年度事業について今日までの事業経過を担当より説明をさせていただきます。

資料館の展示関係について最初に説明します。

古代の里資料館では4/17～6/24「赤坂今井墳墓の世界」のコーナー展示、6/27～8/19「京丹後市の鏡」のコーナー展示、8/22～10/21「館蔵品展～廃村の社寺文化財～」のコーナー展示を実施。平成19年度特別展示として「京丹後市の経塚」をテーマに10/25～11/25を前期展示とし、周辺市町村の指定品の展示、中期展示は11/28～2/24まで、京丹後市内の発掘調査された資料の展示、後期展示2/27～4/13発掘調査以外の資料の展示を行う予定。お手元にチラシと招待券をお配りしているが、チラシは明日全市新聞折込をする予定。また、11/18は古代の里まつりを実施予定。無料開館日とし、体験事業や展示物解説を予定。

網野郷土資料館では、8/6～12「被服資料の虫干し展示」を実施。11/4には資料館まつりを実施予定。手機の体験や勾玉づくり、地元保存会による浦嶋展示などを予定している。これも明日のチラシで広報する予定。

そのほか久美浜一区まちづくり協議会との共催で明治初期の地元所有の絵図や市所有の絵図を「久美浜を描いた絵図」展として久美浜市民局にて6/25～7/1の1週間展示。

京丹後博士講座は今まで5町で実施。残りは11月の久美浜町の3講座。月の第2、3、4週の木曜日の19:30～21:00まで職員を講師として行う。受講者は昨年と比べ微減だが、熱心な方も多く今後も続けていきたい。

稲葉家文書については、平成15年より実施し、本年が最終年度報告書を出

す予定。目録を作り文書の概要が一覧できるようにする。調査のための基礎資料になるもの。対象資料群は文書、民具、書画、写真・絵葉書、考古資料の多岐にわたり、これらを全て目録化して報告する予定。

稲葉家住宅は明治 19 年～23 年にかけて新築されているが、その後も増築されている事が、大場先生の研究で明らかになり、それに関する資料も出てきた。

また、稲葉家では江戸から昭和戦前に資料整理が何度か行われており、全てのもは残っていない。昭和初期丹後鉄道の開通に多くの私財を投じているが、収蔵物の売立を行っている。そのときに美術的、骨董的に価値あるものは手放している。

文書類は総数 28,000 点あまり。大部分は個人文書であるが、近世久美浜代官所とのかかわりの中で関連資料も見られる。また、近世後期から大正、昭和にかけての文芸関係資料も多く残されている。ダンボール、木箱に 170 箱。民具については、資料に書いてあるとおり。書画については、売立時の流出が多いが稲葉家当主の描画などは多く残っている。写真は人物中心であるがプリントが 1300 枚、そのうち 2 割は風景がある。明治 31 年の網野銚子山古墳の写真もあり、保存状態が良い。今年で文化庁の補助事業は終了するが、来年度資料保存に向けて予算要求が必要。文化庁より整理後の資料活用・保存について対応を迫られており、稲葉本家で保存するには内蔵二つのうち一つを収納できる環境に改修する必要がある。

資料 1-2 説明

埋蔵文化財発掘調査について説明します。

湧田山古墳群については、7/3～10/9 の間現地調査を行った。1 号墳は峰山町丹波と矢田の字界、竹野川左岸にあり、全長 100m の前方後円墳だが、今まで発掘調査をされていなく、築造時期が不明な古墳であり、今までなぞの古墳とされている。1 号墳の前方部に崖があり、近年の風水害に崩落が進行している可能性も高く、古墳の保護を検討する資料として墳丘裾部の基底の確認調査を行った。古墳調査の成果として、前方部基底部の傾斜変換点が各トレンチより確認できた。また、1 号墳では埴輪片等が表採できないことから、外表施設が無いといわれていたが今回の調査で無い事を改めて確認した。古墳以外の成果として墳丘外側に弥生時代前期末～中期後半の遺物の包含層を検出した。畿内、様式の沈線文、様式のスタンプ文を持つ遺物である。古墳築造以前に弥生時代の遺構の痕跡が発見できた。2 枚め以降に、現説資料を添付してあるが、トレンチ配置図を見ていただきたい。第一トレンチの墳丘裾の外側の黒色土層検出部分の上面より弥生土器を検出した。また、墳丘裾部あたりで落込状遺構を検出した。トレンチが狭いので断言できないが、溝状遺構の可能性が高

い。近くに扇谷遺跡もあり、弥生時代の高地性集落の環濠？もしくは古墳築造に伴う溝？のどちらの可能性もある。現地は埋め戻しも終了。年度末に報告書を発刊する予定。古墳の遺物は無かったが弥生の遺物に混じていた炭の年代測定を行い、ある程度の時期を把握する予定。来年度以降も継続して調査を行うが、方法については、京都府・文化庁とも慎重に協議し、府指定から国指定の昇格を目指して関係部署との調整をしていきたい。

網野銚子山古墳については、合併前の旧網野町より整備計画を策定し、市へ引き継がれていたが、史跡整備検討委員会でも当面の整備が必要との判断がなされ、今年度調査を実施することになった。古墳の周濠を確認するため本年から4年計画で実施する。今年は周濠の外の部分に古墳に関わる施設がないか確認する予定。11/1 から12月末日までの2ヶ月間の調査期間としている。具体的な場所は古墳の東側、過去の調査で周濠を確認している場所の外側。面的に大きく広げ調査する予定だが、民地であるため所有者の意向次第で制限もある。もう一箇所は今まで未調査の部分。基底部が確認できるのではと期待している。周濠、溝の検出にはやや面積が不足している感もある。次年度以降も継続して調査を行うが、最初の3年間で範囲確認を行ない、最終年度は墳丘の測量調査をする予定。来年度は周濠部、墳丘南側の畑部分を調査予定。21年度は後円部、前方部の先を調査予定。墳丘裾部分は一部国指定範囲に含まれている部分もあり、19・20年度は指定範囲外、21年度は指定範囲内を調査する予定。

調査に当たって調査委員会を設置予定。メンバーは学識経験者2名、地元関係者、審議会長などを考えている。調査方法の指導・助言、調査の評価などをしてもらう予定。こちらも国庫補助事業のため年度末には報告書を刊行する予定。

資料 1-3 説明

市史編さん事業について7月以降の経過を報告します。

網野町の神社建物調査を初めて実施。台風23号や大雪の影響もあり、2,3年で傷みが進んでいる。数年前の写真と大きく異なる場所もあった。内部にある棟札などを多く確認することができた。仏像調査については、久美浜町をほぼ終了した。30年前に京都府立丹後郷土資料館の調査資料を元に準備をしたが、今後仏像管理について検討する必要がある。既に仏像を預かって欲しいという依頼もあり、対応したところもある。今後こうした依頼の増加も考えられる。今年仏像の盗難被害が1件あり、累犯に注意が必要。調査が一定進む中、各地域への報告事業など情報を地元へ還元することも必要であり、久美浜油池で仏像の話をする機会を得た。11/2には久美浜の文化祭にて仏像調査の概要を話すことになっている。久美浜町神谷では区の総会の後に話をする予定。管理の手

薄なところでは今後の仏像管理も含めて話をしていきたい。まだまだ調査に回る必要を感じている。

近代公文書の調査では役場所有の旧村文書はほぼ確認したと思っていたが、久美浜の民俗資料整理で川上村役場の文書を発見した。9月には弥栄町の旧村毎の文書を区事務所で確認した。桐タンスに保管してあるところもあり感心した。旧村資料の保管状況についても確認する必要がある。

今週から網野町内のお寺の建物調査を実施。網野町のお寺は丹後震災で多く倒壊したが、震災後80年経過していることや、復興時によその古い建物を移築した事例もあり、思っていたより古い建物も多い。今後も市史編さんで得た新事実を地元へ還元する機会を増やす予定。

自然地理部門としてボーリング調査を実施。府立大学が直接離湖の調査を行う。11月には久美浜で20mのボーリングを行い、環境変動を調査する予定。

(会長) 報告に対し質問があればお願いしたい。

(委員) 離湖のボーリング調査を実施した位置は？

(事務局) 島津側から国道に入り、離湖の突端部、湖の東側にあたる。ふるさと病院の近くになる。

(委員) 離湖が沈下していると聞いている。網野南小～福田川へ流れるほど昔は高かったと聞いているが、沈下しているどうか確認できたのか？

(事務局) 地盤沈下については、わからない。離湖でのボーリングは12～13m行ったが、表層から5～7mが砂層でサンプルがとれなかった。その下は泥層であった。

(委員) 丹後震災で掛津、遊の山が崩れている。砂層は地震で離れ湖に入り込んだものだと思う。

(事務局) 砂層の下からは深い部分で杉、浅い部分で稲の花粉を検出している。

(委員) 島津でも昔杉の大木があったといわれている。穴を深く掘れば杉はよく出てくる。

(会長) ほかに質問は

資料シボ 次第説明

(事務局) 手元の資料に琴引浜シンポジウムの次第を準備したが、シンポジウム関連と民俗資料整理について説明をさせていただく。

シンポジウム関連事業として、10/14に大クリーンアップ作戦として浜の清掃活動を行った。小学生100名を含む約300名が参加。児童には東山高校の安松教諭から現地で鳴き砂の学習指導を30分程度してもらった。翌週の10/21はシンポジウム当日。環境問題という硬いテーマであったが約120名の方に参

加いただいた。10/28 には、琴引浜の松林のマツクイムシ対策のモデル事業として松林整備を実施。地元中心に約 30 名が整備に参加。行政も京都府、市から当日作業に参加した。

民俗資料は 10/22 より旧久美浜町役場で保管していた川上小学校分を作業員 3 名にお世話になり開始。本日までに 300 点の写真撮影を終了している。

資料 4 説明

(事務局) 九品寺は無住の寺であり、地元と仏像管理について協議したところ古代の里資料館に保管をしてもらいたいとの要望があがり、2 枚目の地蔵像と弘法大師像とあわせて 5 体の仏像を資料館に移動させた。九品寺の本尊は 60 年に一度公開される秘仏（平成 5 年公開）であるため、一般公開は控えてもらいたいとの住職からの要望を受けた。また、網野町木津中性院も住職が野田川在住で無住になっており、資料 3 枚目の観音菩薩像の資料館保管を要請され、こちらでも古代の里資料館に移動した。ほかにも薬師像や涅槃図も所蔵しており、これらについても今後預かることになるかもしれない。資料館の展示スペースも限られており、これら新規の収蔵物を展示できるケース等を予算要望していく必要を感じている。

(会長) 以上の追加説明も含めて質問はありませんか？

(委員) 九品寺の仏像で弘法大師像と説明されたものは、地蔵像の間違いだと思われる。

(事務局) ご指摘のとおり。仏像の種類を間違っていました。

(平井会長) ほかに質問はありませんか？なければ次の議題へ

平成 19 年度両丹文化財保護連絡協議会について 資料 2

(事務局) 前回の審議会で要項、決議文等を協議・確認いただいたが、都合により会場を変更させていただいています。当初は丹後市民局としていましたが、諸般の事情でアミティ丹後の研修室に変更させていただきました。また、それに伴い見学コースを琴引浜から古代の里資料館と順序が当初と反対になっています。この変更については、案内先の教育委員会へ連絡済みであり、ご了解をお願いします。開催日も迫り、本日は会議運営の係を決めてもらいたいと思います。この会議は開催市町村の委員を中心に運営されてきたという過去の例もあり、全ての委員に何らかの役割をお願いしたく、役割担当表（案）を資料として配布させていただきました。その後、会長と事務局との協議を行い、名簿上位から順に各役割をあてはめる事を確認し、本日、委員名入りの役割分担表を資料として配布させていただいています。ご確認いただき、それぞれお世話になれたらと思い提案いたします。

また、10月25日現在の来賓を含む出席予定者リストも送付させていただきましたが、その後、宮津市、京丹波町との連絡もとれ、本日現在で約60名規模の会議になるかと思っています。また、連絡の取れない委員や職員の都合が未確定のところもあり、当日若干の差は出ると思います。

(会長) ただいま事務局より説明がありましたが、役割については、名簿より機械的に貼り付けをさせていただきました。ご了解いただきたいと思います。要項・役割などに関し、質問があればお願いします。

(会長) 当日の委員の集合時間は？

(事務局) 開会あいさつが10:30になっているので、遅くとも10時にはご集合いただきたいと思っています。

(委員) 会場までの案内については、係の貼り付けがないかどう考えているのか？

(事務局) 会場看板をアミティ丹後入り口、1階階段上り口、2階階段突き当たり、研修室入り口に4本設置予定。をつけるなどして誘導する予定をしている。

(会長) 先ほどの委員の集合時間ですが、午前9時30分を集合時間としたいと思いますがよろしいですか？

(全委員) 同意

(平井会長) 役割について、特に意見もないようですがそれぞれお引受いただくということでよろしいですか？

(全委員) 同意

(会長) それぞれの役割の詳細について不明な点があれば担当者に当日までにご確認をお願いします。全体を通じて、ほかに確認しておきたいことはありませんか。

(委員) 見学への交通手段はどのようになっているのか？

(事務局) 他市町からの参加者については、マイクロバスの乗車希望をとりました。現在のところ1名だけの希望ですので、公用車で対応をする予定です。また、京丹後市の委員の皆様には、ご当地の施設で既に見られている方も多いと思います。各自で現地に行ってもらってもよいし、公用車に同乗していただいても構いません。また、当日会場の後片付けを職員と一緒に手伝いをいただける方はそちらに協力していただければさいわいです。いずれにしても当日希望を確認させていただき交通手段は確保いたします。

(会長) ほかに意見がなければ、ここで休憩を取りたいと思います。午後3時まで休憩とします。

休憩

京丹後市指定文化財について 資料 3、3-1 (非公開)

その他

(事務局) 京都府埋蔵文化財調査研究センターの発掘調査について報告させていただきます。

弥栄町 谷奥古墳群については、6/18～11/20(予定)の期間で調査を行っている。当初5基の予定がたくさん増え、古墳でないものも多くあったが最終的に14基の古墳を調査した。中でも8号墳は墓壙が10.5m×4.2mと大きく、割竹形木棺を検出したが、副葬品は貧弱で鉄剣、鉄鏃、刀子、埴輪が出ている。現地説明会を11/10(土)に予定している。

峰山町 千束古墳群からは、直径11cmの銅鏡が出土したと連絡があった。時代は古墳中期。京丹後市内では18面の銅鏡が出土している。日本製の鏡だろうと思われる。関係者説明会を開催する予定だったが、現地説明会を実施する方向で検討している。先ほど鏡の種類について連絡があり、2神2獣鏡であることが判明。時代は5世紀初頭である。

網野町 俵野廃寺については先週より発掘調査に着手した。

久美浜町 茶臼が岳古墳群も今週の月曜日より発掘調査に着手している。

(会長) 質問等はありませんか。

(委員) 千束古墳はどこですか。

(事務局) 赤坂今井墳墓の横にあります。

(委員) 茶臼が岳古墳の場所はどこですか。

(事務局) 永留運動公園の向かいの丘陵になります。

(委員) 調査員の宿舎はどこか。

(事務局) 網野町下岡にあります。

(事務局) 別件になりますが、もう一点報告します。京都銀行口大野支店が閉店され、地元口大野区より小牧源太郎画伯の美術館として建物を利用したいとの要望を受け、市として京都銀行へ要望をしていました。京都銀行も民間企業であり、地元の意向は理解できるが財産処分には相応の費用負担をしてもらわなければならないとの回答がありました。市長との協議の結果、小牧画伯だけでなく、京丹後市出身の名士の足跡が市民へ公開できる施設が必要だろうという指摘もあり、再度構想から練り直す必要があり、文化財保護審議会で公開施設のあり方について1年間審議をいただきたいとの要請があった。それを踏まえて京銀口大野支店の建物利用も考えていきたい。来年度はその審議もお願いすることになるので簡単な経過を報告させていただいた。

(委員) 美術館にリニューアルするには莫大なお金がかかるのでは

(事務局) 京銀の建物は空調施設も完備し、しっかりとした建物。指定文化財の

絵画などを展示するような資料館までのグレードアップを考えていない。大宮町時代に小牧氏の遺品の寄贈を受けている（油絵 60 点、アトリエの資料）ことから構想をしていたが、今回の京銀の回答をきっかけとして再検討することとなった。

(委員) 旧口大野役場の活用についてはどのように考えているか。

(事務局) 美術館として整備計画していた京銀口大野支店と隣接しており、関連して施設の整備を考えていた。

(委員) 両方の整備となればなおさらお金がかかるのでは。

(委員) 建物を欲しいというと高値になり、売りたいといえは安値になると思う。

(事務局) 当面建物自体に買手はつかないと思われるが。

(事務局) 最後に、来年度の予算策定期間でもあるので、来年度以降の取組みで何かご意見があれば是非聞かせてもらいたい。

(委員) 京丹後市の梨の木の大きな木がある。幹周りが 214cm もあり丹後固有種ということである。下部には赤梨、上に青梨の実がつくそう。また、柴栗の大きな木もあるようだ。

(会長) 埋もれた地域の文化財がまだまだたくさんあると思われる。各委員アンテナを張って情報収集してもらえればありがたい。ほかにありませんか。

(委員) 前回の審議会でも話題になっていたが、案内板・看板の整備をお願いしたい。文化財にアクセスしやすいよう順次整備をしていくとは聞いているが少しでも早く終わるよう予算確保をお願いしたい。また、丹後震災記念館の雨樋の補修もわずかな額だと思われるので予算計上をお願いしたい。

(委員) 震災記念館は屋根の修理が必要なのでは。

(委員) 落ち葉がつまり、水がたまる。対応策が必要。回りの木が大きいのも原因だと思う。

(委員) 建物に水が回らないように、府登録文化財としてきちんとした保全措置が必要。

(会長) 来年度も文化財自体の保守管理の費用を確保してもらい、徹底した管理をお願いしたい。ほかに意見はありませんか。なければ本日の審議会はこれにて終了します。ご苦労様でした。